

Q&A

令和7年度 施政方針について



肥塚 康子 議員

YASUKO KOEZUKA



「健全で効率的な自治体運営を推進する」より

問 産業振興センターの在り方について令和7年度に市の方針は示されるのか。

答 JR本竜野駅周辺のにぎわいの創設を図るため、駅前における複合施設の整備にむけた中心市街地複合施設基本構想の策定を進めるにあたり、利用者と調整し、産業振興センターを除却することとしている。

問 御津体育館の再編計画並びに整備は、どのような方針か。

答 現在建設するための候補地の選定、施設の規模、必要となる設備、財源の検討など、建設にあたっての諸条件及び課題整理等を行っている。令和7年度はこれらの内容を整理したうえで再編並びに基本方針を検討していく予定である。

「大切な命と地域を守る」より

問 防犯カメラ・AEDの各ごとも園・小学校・中学校の設置状況はどうか。

答 公立ごとも園・保育所12園小学校16校、中学校5校の全ての学校園所に設置している。

問 社会教育施設及び社会体育施設における防犯カメラ・AED設置の方針はどうか。

答 防犯カメラの設置は、犯罪の発生を抑止するとともに、利用される方の不安感の解消を図るなど、安全・安心を確保するうえで有効なものであり、AEDの設置についても迅速な使用が生存率に大きく左右することから有効なものであるため、施設の利用状況や設置費用などを勘案し、防犯カメラ及びAEDの増設に向け検討していく。

その他の質問事項

● 投資的経費において、前年度比+48億2,100万円となっている。有利な市債を活用していると思うが、今後どのくらいの額が国から補填されるのか。

Q&A

公共図書館の今後の在り方について



畑山 剛一 議員

TAKAKAZU HATAYAMA



公共図書館の今後の在り方について

問 全国では、さまざまな自治体が公共図書館を独自のアイデアで市民と共に地域の活性化に取り組んでいる。本市でも民間の力を取り入れ他市でも好評のカフェ等を併設して飲食のできる市民の憩いや観光スポットとして取組んではどうか。

答 近年、他の自治体においては図書館の新築や改築の際に、カフェ等を併設する事例も多々ある。これは、図書館に求められる役割が変化し、居心地の良い空間や交流の拠点としてのニーズがますます高まっていることが考えられる。今後、図書館の改築等に取組む際には、カフェ等の併設についても検討していく。

問 環境汚染について
不法投棄されたごみなどが河川や海洋に流出し、それを

生物が食べて死ぬほか、マイクロプラスチックとなって人の体内から検出される問題も起きている。昨年も党青年局と共に新舞子浜の清掃活動をおこなった。たくさんのナイロン袋やプラスチック片と一緒にカキの養殖に使うプラスチックパイプを大量に回収した。流出対策の徹底や回収また生分解性プラスチックパイプの早期導入を推進すべきではないか。

答 生分解性プラスチックや代替素材等の最新技術については、今後実用化された場合には積極的に導入を推進していく。

問 ペットボトルの本体はリサイクル法で、自治体が回収し再資源化することになっている。しかし、キャップの回収義務が自治体にはない。本庁舎や支所、地域のコミュニティセンターなどに回収ボックスを設置して、啓発や回収に取り組んではどうか。

答 本市ではペットボトルキャップも資源ごみとして分別回収し、リサイクルルートに乗せている。今後は、より分かりやすいように周知を図る。